

豪州の利下げについて

大和証券投資信託委託株式会社

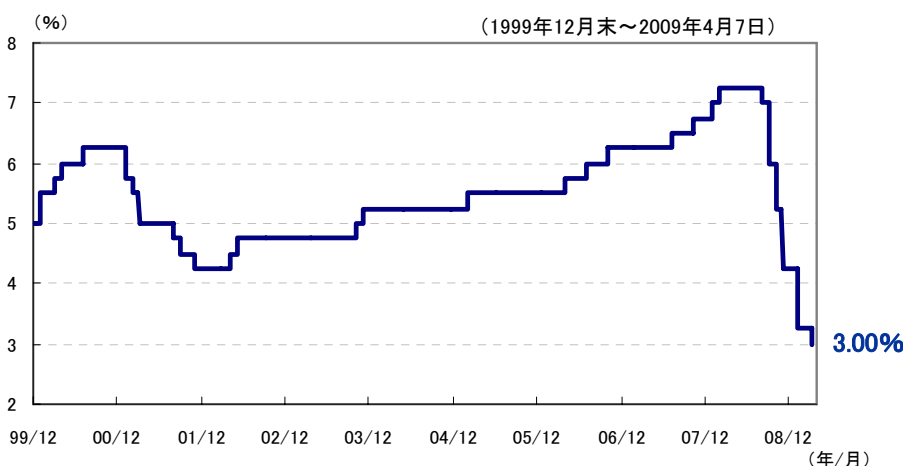
豪州の中央銀行であるRBA(豪州準備銀行)は、4月7日に開催された金融政策決定会合で、政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートを0.25%引き下げ3.00%とすることを決定しました。豪州の利下げは、昨年9月から数えて6回目で、これまでの利下げ幅は合計で4.25%となります。

RBAは会合後に声明を発表しています。世界経済については短期的な見通しの下振れに言及、中国などで景気安定化の兆しが見られるものの、改善傾向が定着したと判断するには時期尚早と述べています。豪州経済については、設備稼働率の低下、労働需要の減退による景気の減速が見られ、インフレも過去2年の水準を下回る見通しを示しています。これらの点に鑑み、RBAはキャッシュレートを追加調整する余地があると判断した格好です。

RBAは、これまでの金融政策スタンスは、大規模な財政出動とともに今後の内需に大きな支援要因となることに言及しています。また豪州のスワン財務大臣は、世界的な景気後退の影響を緩和する措置として、今回の利下げを歓迎するコメントを表明しています。豪州当局者は、金融、財政両面からの積極的な景気刺激効果に対して大きく期待を寄せており、その効果を見極めながら今後は慎重な姿勢で金融政策を行うものと見られます。

今回の利下げ決定はほぼ市場の想定どおりの結果であり、債券、為替市場とも現状では落ち着いた反応を示しています。これまでの大幅利下げと異なる0.25%という抑制された利下げ幅は、今後の利下げが慎重な姿勢で行われることを示唆するとも考えられます。今後の市場では、これまで続いていた連続利下げの終着点をそろそろ探りに行く展開になることも予想されます。

政策金利の推移



(出所)ブルームバーグのデータより大和投資信託作成

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会